

船舶事故調査報告書

平成31年1月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成30年7月21日 11時30分ごろ
発生場所	長崎県平戸市青砂 <sup>あおさ</sup> 埼南方沖 青砂埼灯台から真方位170° 900m付近 (概位 北緯33° 19.4′ 東経129° 33.8′)
事故の概要	プレジャーヨット <sup>うなきか</sup> 海坂は、北東進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成30年8月1日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーヨット 海坂、8.5トン
船舶番号、船舶所有者等	280-32351千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	センターキールに擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、コックピットの中で腰を掛けた姿勢で見張りをを行い、機走として約5～6ノットの対地速力で自動操舵により、平戸市平戸港に向けて同市平戸島東岸沿いを北東進した。</p> <p>船長は、周囲に航行の支障となる他船を認めず、海上が穏やかだったので、ビール約1ℓを飲んだ後、眠気を感じ、同じ姿勢を続けていたところ、いつしか居眠りに陥り、衝撃を感じて目覚め、本船が青砂埼南方沖の浅瀬に乗り揚げたことを知った。</p> <p>本船は、自力離礁した後、本事故発生を目撃者から通報を受けて来援した海上保安庁の巡視艇によりえい航され、平戸港に入港した。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.40m、センターキール下端約1.87m、船尾約1.00mであった。</p> <p>船長は、本事故当時、ビールを飲んでいただけなどで居眠りに陥ったのではないかと本事故後に思った。</p>
分析	<p>本船は、青砂埼南南西方沖を自動操舵により北東進中、船長が、居眠りに陥ったことから、青砂埼南方沖の浅瀬に向かって航行を続け、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、飲酒した状態で、自動操舵として腰を掛けた姿勢で見張りを続けたことから、覚醒水準が低下し、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、青砂埼南南西方沖を自動操舵により北東進中、船長が、居眠りに陥ったため、青砂埼南方沖の浅瀬に向かって航行を

	続け、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 操船者は、航行中、飲酒をしないこと。</li><li>・ 航行中、眠気を感じた場合は、適宜、椅子から立ち上がって身体を動かすなど、居眠りを防止する措置をとること。</li></ul>